

受賞を契機に新たに取り組んでいること

1) 「景観協定」の維持活動費への補充

協定締結時、豊中市の助成にて作成された「色刷りパンフレット」が数少なくなったので、新築、建て替え時、建築主、業者に渡し、自治会の景観に対する思いを意識し伝える為に使用する目的で増刷します。

*19年度維持活動費にて、「景観協定」の色刷りパンフレット300部発注致しました。その「景観協定書」を市の開発審査課にも常備して頂き、地域住民の住環境に対する思いを新たに住まわれる方々に理解して頂けるようお願いいたしました。

2) 防犯、防災ベル設置の検討

70年代に防犯ベルを近隣5～6軒単位で取り付けていましたが、建て替え等により機能している家屋単位は、数少なくなりました。

高齢化の中、戸別による近隣対応の防犯ベルの取り付けを考慮しています。

3) 「弱者に優しいまちづくり」のため幹線道路歩道に休憩用椅子を設置

高齢化が進む中、丘陵地を開発して出来たまちなので、上～下に20m程の高低差があり、買い物、医療施設への通院、散歩等での休憩用の椅子をと以前より望む声がありました。

*19年度維持活動費にて、市との協議により、東西、南北に走る2本の幹線道路の両側歩道の中に、市により2基の椅子設置が行われ、自治会活動費より5基の追加設置を致しました。

4) 幹線道路歩道の側溝に蓋をする

地域清掃活動で住宅外周幹線の歩道は、このまちのシンボルでもある銀杏の落葉により側溝の清掃が一時期ではありますが、大きな負担となっております。少しでも労力を軽減し、街の美化になるよう側溝の蓋を考えてみたいと思っております。

側溝に蓋をすることは学童の通学路にもあたり、自転車等の走行時の退避、転倒の防止になると考えています。

5) 子供会より地域内二ヶ所の公園に鉄棒を設置して欲しいとの要望

逆上がりが出来ない子供が多いので、近所で練習できる所が欲しいとの声があり、市と協議しながら実現したい課題です。

調査検討経費の使途 (19年度分)

- ・ 歩道休憩椅子
- ・ 印刷費
- ・ 通信交通費
- ・ 回覧 (コピー)
- ・ 調査、文書作成等
- ・ 勉強会等

近い将来取り組まなければならない課題

1) 自治会会報、景観新聞の発刊

回覧形式で度々出していた報告をまとめ、会報とし配布を考えてみる。

2) 高齢化が進む中、「景観協定」を含む自治会活動の停滞の懸念

新規入居者の自治会活動への参加、若い世代の参加、子ども会との清掃活動等を通じて活動を広げていきます。

3) 「景観協定」の理解やあり方を考える話し合いの場を持つ

景観協定をより理解し定着していくため、市の都市景観、建築指導室の方々による出張講座の活用や、「まちづくり」の講師を招き、茶話会形式など気軽な話し合いの場を持ちます。

* 3月に、市の建築指導室、都市景観室より2名の方による出前講座を開き、茶話会形式での気軽な質疑応答で「景観協定」の持つ良い所、今後の課題等を話し合った。若い方の出席もあり、有意義な話し合いの場を持ちました。